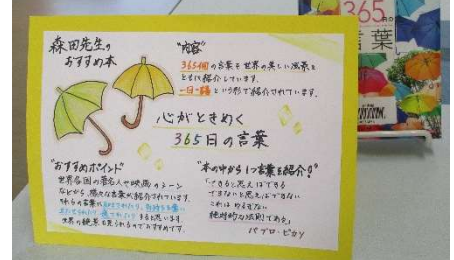




2025年2月

「先生のおすすめ本」を展示しています！

「おすすめ本」と一緒に、1年生の図書委員が先生方への取材をもとに作成した「ポップ」も展示しました。



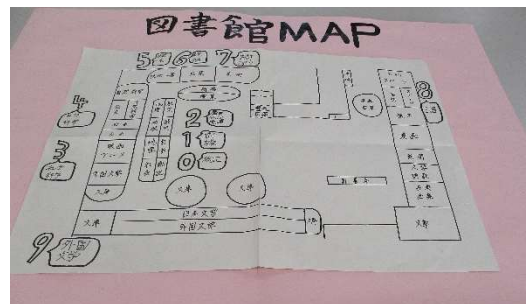
<展示している本>

- 『山の霊異記 赤いやっけの男』 安曇潤平/著 角川文庫
- 『四角六面 キューブとわたし』 エルノー・ルービック/著 久保陽子/訳 光文社
- 『のうだま やる気のコトバ』 上大岡トメ&池谷裕二/著 幻冬舎文庫
- 『熟睡者』 クリスティアン・ベネディクト ミンナ・トゥーンベリエル/著
鈴木ファストアーベント理恵/訳 サンマーク出版
- 『風が強く吹いている』 三浦しをん/著 新潮文庫
- 『ブロードキャスト』 湊かなえ/著 KADOKAWA
- 『心がときめく365日の言葉』 花田達郎/編集人 英和出版社

予約受付中です。
(2月27日から
貸出開始)

「図書館マップ」を作成中！！

2年生の図書委員が作成中の「図書館MAP」には、館内の様子や「どんな本がどこにあるか」等がわかりやすく記されています。本の紹介も載っています。(学年ごとに1枚ずつ掲示する予定です)
「図書館MAP」を見て、本を探しに図書館まで！



最終返却日のお知らせ

3年生・・・3月7日(金) 1, 2年生・・・3月18日(火)

貸出期間が2週間より短くなる場合があります。ご協力よろしくお願いします。

□□□ 川通中図書館案内 その9 「新書コーナー」 □□□



「新書」は、「新刊本」や「新着本」とは違うですね。どんな本があるか、ぜひ図書館でご覧ください。

新書とは？
⇒

「文庫本より少し大きい縦長の本。縦 173mm、横 106mmが一般的だが、決まりはなく、独自のサイズにしている出版社もある。イギリスで 1935 年に発売された、表紙がうすく小型の本のシリーズ「ペンギンブックス」を参考に、岩波書店が最初にてがけた。1938 年、岩波新書と名づけて刊行を開始。古典中心だった同社の文庫本と区別するため、時代にあう知識や教養を提供する役割をもたせた。現在では多くの出版社が同様の新書のシリーズをもつ。内容はノンフィクションが中心で、入門的なもの、実用的なものなど、広範囲にわたる。」
(「ポプラディア第三版 8」P.249 より)

◇◇◇新しい本（新着本）が入りました◇◇◇

(一部を紹介します)

分類	書名	著者など	出版社	紹介等
031	『ギネス世界記録 2025』	クレイグ・グレンディ	KADOKAWA	あらゆるジャンルのギネス世界記録を網羅。また、「ギネス世界記録」誕生から 70 年を記念して、70 年間の歴史を 10 年ごとにふり返る。
402	『ドミトリーともきんす』	高野文子	中央公論新社	不思議な学生寮「ともきんす」には、科学を勉強する学生 4 人が住んでいる。時空を超えて朝永振一郎、牧野富太郎、中谷宇吉郎、湯川秀樹と出会った、ひと組の親子の物語。
726	『何のために生まれてきたの?』	やなせたかし	PHP 研究所	現在とその未来をなるべく楽しく、なるべく面白く、生きたほうがいいんです。苦しい時もユーモアと好奇心を忘れなかったやなせたかしが語る、痛快人生論。
913	『シロガラス 6 ひみつの旅』	佐藤多佳子	偕成社	「シロガラス」シリーズ 6 冊目。(第 2 部里山田神社編、開幕) 星司の母、ミズキの失踪に関する手がかりをつかんだ星司と千里はふたりだけで北へむかい…。
913	『藍を継ぐ海』	伊与原 新	新潮社	ウミガメの卵を孵化させ、ひとりで育てようとする中学生。奈良の山奥でニホンオオカミに出会う Web デザイナー…。科学だけが気づかせてくれる大切な未来を描く、5 つの物語。
913	『謎の香りはパン屋から』	土屋うさぎ	宝島社	大学生の小春はパン屋でアルバイトをしている。あるとき親友の由貴子にドタキャンされてしまう。小春は彼女の行動を振り返り、意外な真相に辿りつく…。